

◆ 2018年度助成校・団体の活動紹介

2020年2-3月に訪問した学校・団体の実践を紹介します。

日産財団ニュースレター (第59号)

2019年3月発行



公益財団法人
日産財団
NISSAN GLOBAL FOUNDATION

福岡県 田川市立弓削田小学校



3年生理科「じしゃくのふしぎをしらべよう」の授業の様子。本時は磁石のはたらきや性質をより深め、自らの考えを表現することを目標とする。担当教諭が効率的にICT機器（電子黒板や書画カメラ等）を活用することで、児童の理解をより深められるように工夫された授業が行われていた。

福島県 いわき市立平第二小学校



4年生「水のあたたまり方」の授業では、試験管の真ん中を熱すると、中の水はどのように動くか、自分の予想の根拠を説明し（写真左）、実験の様子をタブレット端末で撮影している様子（写真中）。5年生「川の水は、どちらに流れているか」の授業では、流れる水のはたらき（堆積作用、運搬作用、浸食作用）を手がかりにして、写真資料の川の水がどちらに流れているか、皆で話し合い調べている様子（写真右）

栃木県 鹿沼市立栗野中学校



SDGs教育として、以前より花マップボランティアなどの活動で繋がりの強い、鹿沼市内にある「上永野 蠟梅の里」から講師を招聘し、蠟梅の生態・特徴・歴史・用途などの話を傾聴。その話から、蠟梅がSDGsの項目のどれに関連するか考え、その理由をワークシートに記載している。

「第3回リカジョ賞の募集終了のお知らせ」

2月28日をもって、第3回リカジョ賞の募集が終了いたしました。全国から沢山のご応募いただきましたこと、心より御礼申し上げます。成果報告・選考結果については、2020年9月17日(木)の日産財団 贈呈式で発表いたします。どうぞご期待くださいませ。

また今後、リカジョ賞受賞者と理科教育助成校・団体との連携も促進して参ります。気になるリカジョ賞の活動がございましたら、ぜひ日産財団までお問い合わせくださいませ。皆さまの懸け橋となれるよう努めてまいります。

神奈川県 川崎市立中学校教育研究会理科部会 観察・実験推進委員会



委員会兼授業見学会の様子。授業見学会では、様々な実験を行いながら、空気が温められることによって上昇気流が発生し、冷やされると下降気流が発生することを体感している(写真左側2枚)。委員会では教員研修として、日産財団リカジョ賞準グランプリを受賞した東大物性研究所の餅田氏を招聘し、チョコレートを題材に、物理法則とチョコのおいしさとの関係性について、体験しながら学んでいる(写真右側2枚)。

第4回も募集予定です。
皆さまからの応募を
心よりお待ちしております！

